

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン

サーバリックス(2 価)およびガーダシル(4 価)は、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)である HPV16 型と 18 型の感染を防ぐことができ、子宮頸がんの原因の 50~70%を防ぎます。

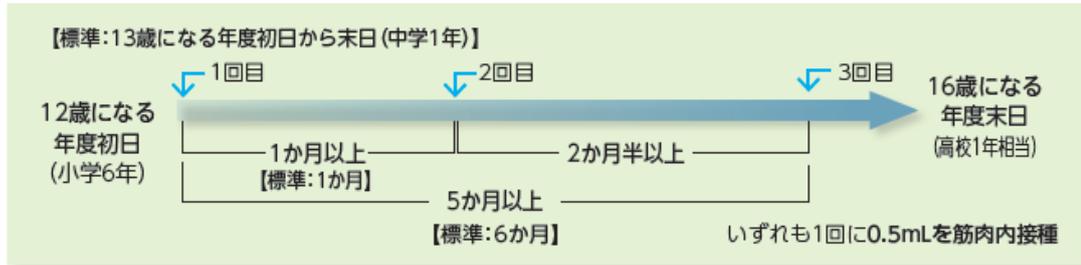
シルガード 9(9 価)は、HPV16 型と 18 型に加え、ほかの 5 種類の HPV の感染も防ぐため、子宮頸がんの原因の 80~90%を防ぎます。

【接種間隔・回数】

(1) 2価ワクチンの場合

1か月以上あけて2回、1回目から5か月以上かつ2回目から2か月半以上あけて1回

※標準的な接種間隔: 1か月あけて2回、1回目から6か月あけて1回



(2) 4価ワクチンの場合

1か月以上あけて2回、2回目から3か月以上あけて1回

※標準的な接種間隔: 2か月あけて2回、1回目から6か月あけて1回



(3) 9価ワクチンの場合

a) 2回接種(初回接種が15歳未満の場合)

5か月以上あけて2回

(5か月未満で2回目を接種した場合は、2回目の接種から3か月以上あけて3回目の接種が必要)

※標準的な接種間隔: 6か月あけて2回



b) 3回接種

1か月以上あけて2回、2回目から3か月以上あけて1回

※標準的な接種間隔: 2か月あけて2回、1回目から6か月あけて1回

